

2020年9月30日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

アイラミド配合懸濁性点眼液（アイセンター）【院外限定】

薬効： $\alpha 2$ 作動薬/炭酸脱水酵素阻害薬配合剤 緑内障・高眼圧症治療剤
申請理由： 緑内障治療において、多剤併用による点眼回数の増加はアドヒアランスの低下につながり診療上問題となっている。本薬剤は配合剤のため、単剤を併用するよりも点眼回数が抑制され、アドヒアランス改善に貢献すると期待される。これまでの配合剤と異なり β 遮断薬を含まないため心疾患など β 遮断薬禁忌患者に対しても処方可能である。

採用中止薬剤： なし

ビムパット点滴静注 100 mg（脊椎外科）

薬効： 抗てんかん剤
申請理由： 新規に投与する場合 100mg からであり、現在は 200mg バイヤルを使用し半分破棄している。100mg バイヤルを使用するケースが多いため、新規に発売されたビムパット点滴静注 100 mgへ変更していきたい。

採用中止薬剤： ビムパット点滴静注 200 mg

ロタリックス内用液（小児科）

薬効： ウイルスワクチン類
申請理由： 重症ロタウイルス胃腸炎の発症を抑えられることができるワクチン。ロタリックス内用液は2回、ロタテック内用液は3回接種する必要がある、より簡便な方を選択したい。

採用中止薬剤： ロタテック内用液

② 2019年12月で決定したが発売延期になった薬剤

フェインジェクト静注 500mg（消化器内科）

薬効： 鉄欠乏性貧血治療剤
申請理由： 1回あたりの鉄として 500mg の静注が可能であり、既存の薬剤に比べて、より少ない投与回数で必要な量の鉄を投与することができるため

採用中止薬剤： 2% キシロカインE入り

→ 「発売延期で発売され次第購入」

③ 使用成績調査

<リンヴォック錠>

- 1、調査区分：特定使用成績調査
 - 2、医薬品名：リンヴォック錠 7.5mg、15mg
 - 3、調査目的：リンヴォック錠が投与されるすべての関節リウマチ患者を対象として、使用実態化における安全性と有効性を検討する。
 - 4、調査予定期間：本剤発売日～2024年1月（予定）
- 登録機関：本剤発売日～全例調査に関わる承認条件が解除されるまで
観察期間：投与開始から3年間
- 5、予定症例数：全例
 - 6、調査責任医師：家口 尚先生

以上